

生産方式革新実施計画の概要【富並青柳農産 株式会社】

2026年
3月24日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

富並青柳農産 株式会社（山形県村山市）

経営概況（2026年3月時点）

経営規模：水稲55ha、ソバ15ha、花き30a、
サトイモ20a

従業員数：6名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



富並青柳農産の皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

認定にあたり、弊社では栽培管理システムから得られた情報を基に産地内の担い手と共有、データ分析を行い、翌年以降の生産性向上に繋げていきたいと考えております。今後も地域の農地を守り、農業の発展に尽力してまいります。